

とやま がい かく  
富山外郭環状道路（一般国道8号  
なかじま ほんごう  
中島～本郷）

## 計画段階評価

## 第3回 説明資料

## 目 次

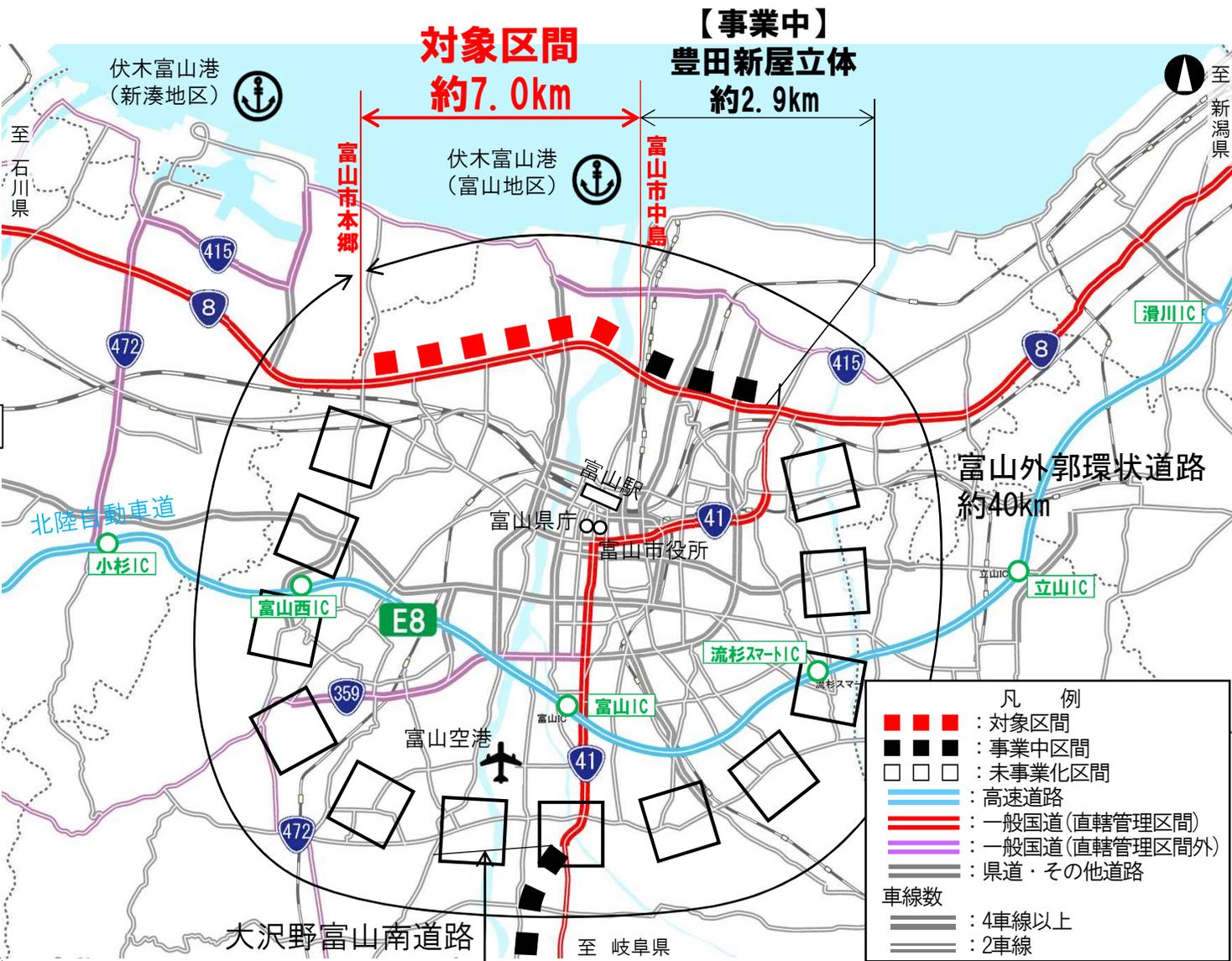
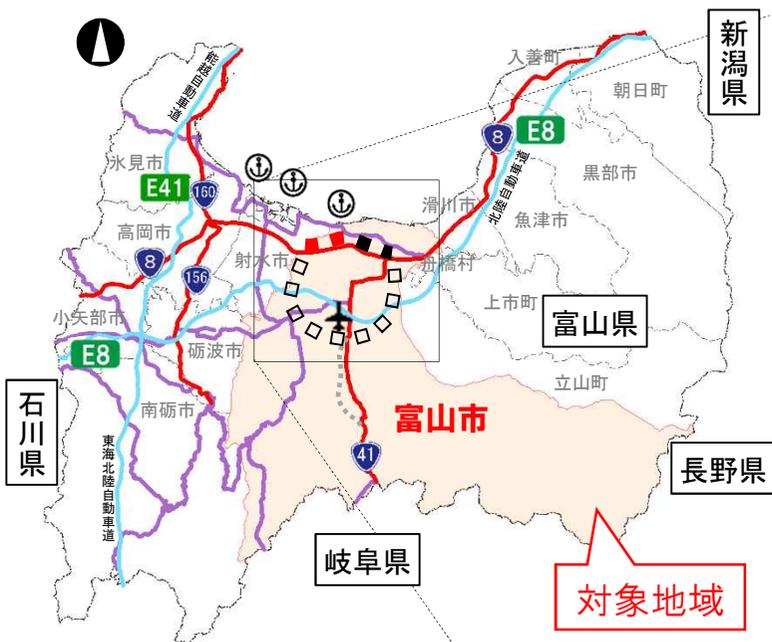
1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・	1
2. 第2回意見聴取の概要	・ ・ ・	8
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・	20
4. 自治体への意見照会	・ ・ ・	25
5. 対応方針（原案）まとめ	・ ・ ・	28
6. 今後の流れ（案）	・ ・ ・	30

# 1. 計画段階評価の検討の流れ

# 1-1. 評価対象区間

- 富山外郭環状道路は、日本海側の大動脈である国道8号がその一部を構成し、北陸自動車道、国道41号と一体となって規格の高い幹線道路ネットワークを形成する重要な路線である。
- 評価対象区間(以下、対象区間)は、富山市(以下、対象地域)の北部に位置し、国道8号が東西方向に連絡する延長約7.0kmの区間である。

## 位置図



- 凡例
- ■ ■ ■ : 対象区間
  - ■ ■ ■ : 事業中区間
  - □ □ □ : 未事業化区間
  - : 高速道路
  - : 一般国道(直轄管理区間)
  - : 一般国道(直轄管理区間外)

- 凡例
- ■ ■ ■ : 対象区間
  - ■ ■ ■ : 事業中区間
  - □ □ □ : 未事業化区間
  - : 高速道路
  - : 一般国道(直轄管理区間)
  - : 一般国道(直轄管理区間外)
  - : 県道・その他道路
- 車線数
- : 4車線以上
  - : 2車線

# 1-2. 周辺の道路整備状況

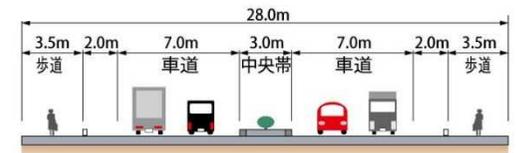
- 対象区間は、国道8号の富山市中島から本郷を結ぶ平面4車線の道路である。
- 対象区間の東側では、豊田新屋立体(2.9km)が事業中であり、平面交差点を立体化する計画である。

## ■位置図

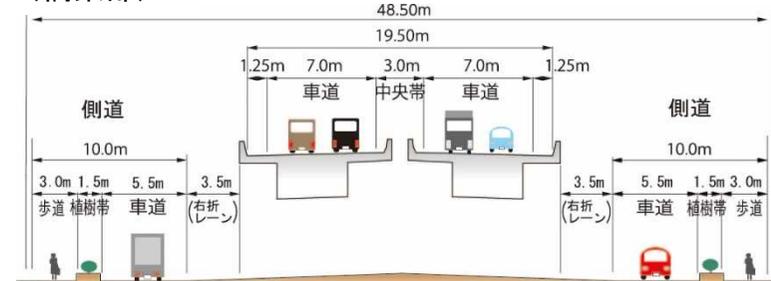


## ■豊田新屋立体の標準横断面図

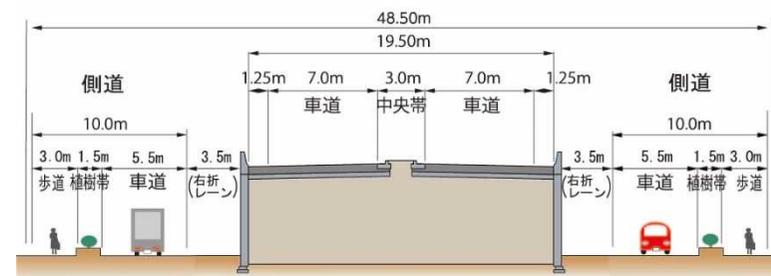
(現況)



(橋梁部)



(土工部)



## ■縦断面図



## ■令和元年度 社会資本整備審議会 道路分科会 第9回 北陸地方小委員会の概要

実施日：令和元年10月9日（水） 開催

- 主な議事：①第1回意見聴取結果  
 ②政策目標の設定  
 ③評価項目の設定  
 ④対応方針（ルート帯案）の検討  
 ⑤第2回意見聴取方法

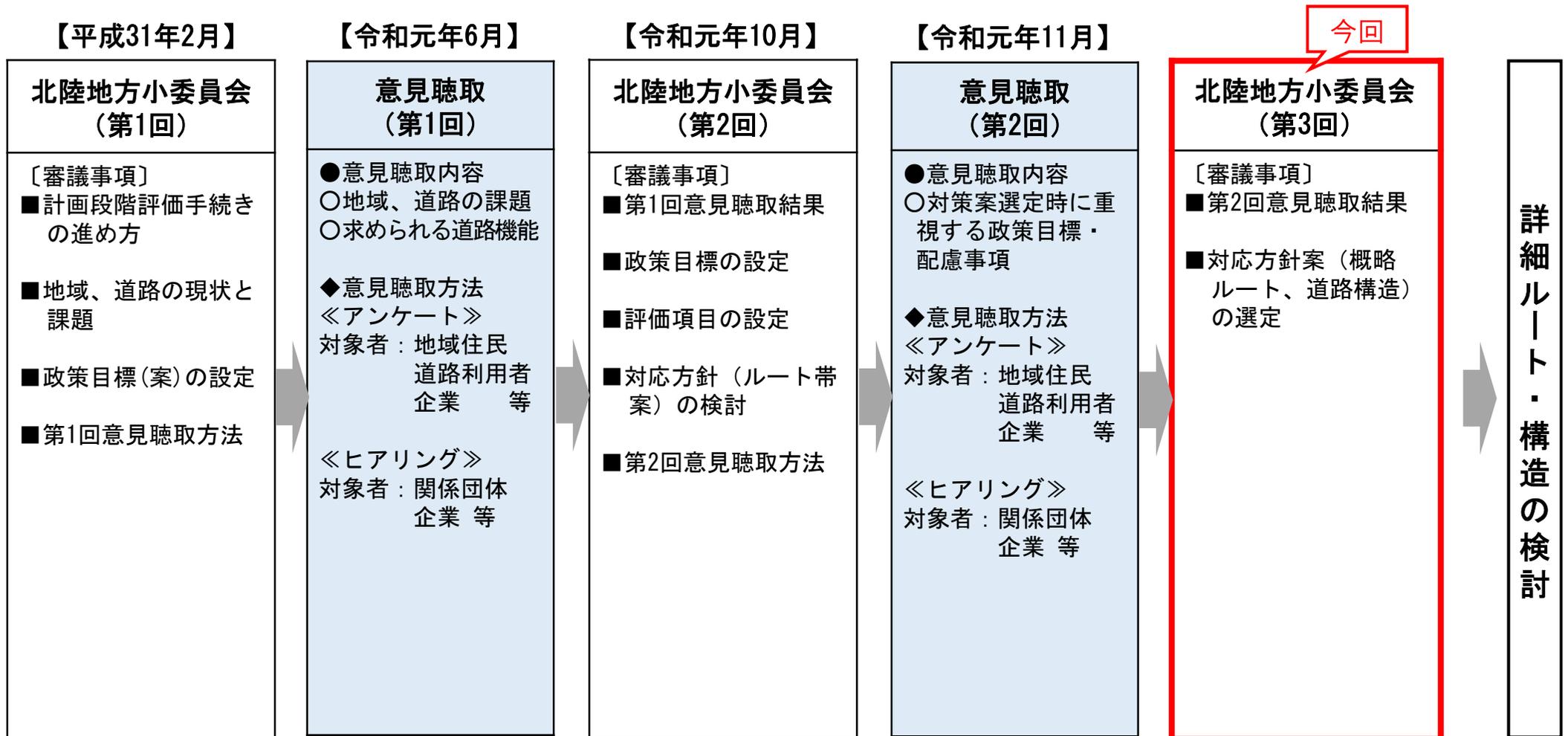
### ●前回審議における主な質問・指摘事項と回答・対応

質問・指摘事項	回答・対応
(④対応方針(ルート帯案)の検討について)	
・ルート帯案比較表において、可能な範囲で定量的な評価を提示できれば、分かりやすい。	・比較表の渋滞、事故について、定量的整備効果を記載した。【7頁参照】
・騒音及び景観に関するデメリットがあるため、比較表に入れてほしい。	・比較表の「生活環境への影響」にデメリットを記載した。【7頁参照】
(⑤第2回意見聴取方法について)	
・富山県は共働き率は高く、働く女性を無視してこのような政策を進めるわけにはいかないため、回答者の男女比率の偏りを改善するよう工夫してほしい。	・富山県女性団体連絡協議会に参加している全16団体に対して、新たに調査協力を依頼した。 ・回収結果の女性比率は約10%向上した。【15頁参照】
・アンケートにおいて、3つのルート案のうち、どのルートがよいか選択できる設問がない。	・複数ルート案について、どの案がよいかをアンケートで直接的に尋ねることは、あたかも住民投票でルートを決めるかのような誤解を招くことがあることから、設問立てはせず、回答したい場合は、問4の自由意見で対応することにした。【19頁参照】
・3つのルート案のうち、どのルートがよいか聞いた場合、回答が圧倒的に偏った場合に、他案を選択できなくなる恐れがある。素人とプロの見解が違ったときのことも考えて、設問は工夫した方がよい。	

# 1-4. 計画段階評価の検討の流れ

- 地域住民や道路利用者の意見を踏まえ、対応方針〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

## 計画段階評価



# 1-5.政策目標

- 地域、道路交通の状況と課題、地域の将来像等を踏まえ、以下の政策目標を設定
- これらの目標を達成するための対策案として、対象区間における道路整備方針を検討

## ○対象地域における政策目標を設定

### 地域、道路交通の状況と課題

- ①慢性的な渋滞
- ②交通事故が多発
- ③製造業への影響
- ④公共交通への影響
- ⑤救急搬送活動への支障
- ⑥河川氾濫等による被害

### 地域の将来像

- 総合計画
- 都市マスタープラン
- 国土強靱化地域計画

## 【政策目標】

- 交通の円滑化
- 交通安全の確保
- 地域産業の活性化
- 快適・安心な暮らしづくり
- 災害に強い道路の確保

## ○対策案の検討

### 【渋滞関連】

- ・ 必要な交通容量が確保され、円滑な走行が可能な道路とは

### 【事故関連】

- ・ 事故の危険性が少なく、安全性が高い道路とは

### 【物流関連】

- ・ 速達性が向上し、定時性が確保される道路とは

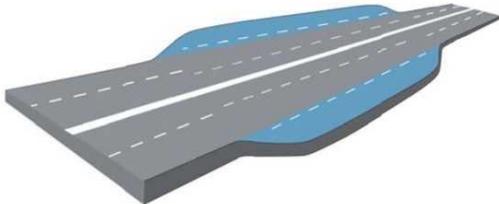
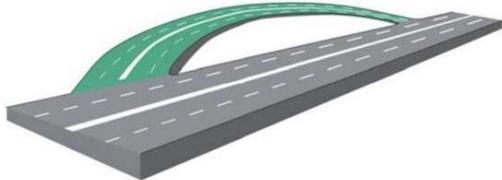
### 【生活関連】

- ・ 公共交通の定時性、救急搬送の速達性が向上できる道路とは

### 【防災関連】

- ・ 災害時にも通行が可能な道路とは

道路交通の状況と課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し検討

対 応 方 針 案		【案①】6車線化	【案②】交差点立体化	【案③】バイパス
				
				
		国道8号富山県高岡市	国道8号坂東立体	国道8号入善黒部バイパス
概 要		現在の道路(以下、現道)を4車線から6車線に拡幅	交通課題が顕在する交差点を立体化	現在の道路(以下、現道)とは別のバイパスを整備
政策目標	①交通の円滑化	交通混雑を緩和 ・走行車線が増えるが、信号交差点は残るため、渋滞緩和の効果は小さい (混雑時の所要時間が約1分短縮※)	・交差点の立体化により、渋滞が緩和(混雑時の所要時間が約5分短縮※)	・バイパスへ交通が転換し、渋滞が大幅に緩和(混雑時の所要時間が約7分短縮※)
	②交通安全の確保	交通事故の減少 ・信号交差点が残るため、交通事故減少の効果はない※	・交通事故が大幅に減少(約9割削減※)	・交通事故が減少(約3割削減※)
	③地域産業の活性化	企業活動(輸送時間の短縮、定時性の確保)を支援 ・信号交差点が残るため、輸送時間を短縮できず、移動に必要な時間を想定できない	・信号交差点を通過しないため、輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい	・信号交差点を通過しないため、輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい
	④快適・安心な暮らしづくり	公共交通の定時性向上 ・信号交差点が残るため、交通転換によるバス路線の混雑緩和は期待できない	・国道8号への交通転換により、バス路線の混雑緩和が期待できる	・国道8号への交通転換により、バス路線の混雑緩和が期待できる
	救急車の搬送時間短縮 ・信号交差点が残るため、搬送時間を短縮できない	・信号交差点を通過しないため、搬送時間が短縮	・搬送距離が延びるため、搬送時間を短縮できない	
⑤災害に強い道路の確保	河川氾濫時の緊急通行確保路線の確保 ・平面構造のため、河川氾濫時において緊急通行確保路線を確保できない	・高架・盛土構造により、河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能	・盛土構造により、河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能	
配慮すべき点	①環境等への影響	自然環境への影響 ・現道を拡幅するため、影響は小さい	・交差点前後区間の整備のため、影響は小さい	・新たに道路を整備するため、影響は大きい
	②生活への影響	移転等が必要な家屋数 ・少ない	・少ない	・多い
		生活環境(大気・騒音等)への影響 ・信号交差点が残るため、現道沿線の生活環境(大気・騒音等)の改善は期待できない	・渋滞の緩和に伴い、現道沿線の大気の改善が期待される ・騒音対策及び景観への配慮が必要	・交通がバイパスに転換するため、バイパス沿線の大気への影響が大きい
	③工事の影響	工事中の交通規制 ・現道を工事するため、交通規制が最も多い	・交差点前後区間で工事するため、交通規制が多い	・新たに道路を整備するため、交通規制は少ない
④建設費	建設費用 ・約200～250億円	・約400～450億円	・約700～750億円	

## **2. 第2回意見聴取の概要**

# 2-1. 意見聴取の概要

## ■実施目的

求められる道路機能に関する意見を収集

## ■意見聴取期間

令和元年11月～12月(約1ヶ月間)

## ■配布方法

- ①住民用は郵送により配布
- ②事業所用は郵送または会報等により配布
- ③上記以外は県市町村役場、道の駅や高速道路SA・PAにアンケート用紙を留置
- ④HP上でのWebアンケート

## ■意見聴取の対象

### ①アンケート調査

項目		調査対象	調査方法
地域住民	沿線住民	(対象区間に隣接する町内会の住民)	郵送配布・郵送回収 (全戸配布(約1,800世帯)※1)
	周辺住民	(富山県内全市町村の住民)	留置アンケート(富山県庁、富山県内全市町村の市役所・町村役場(本庁舎)、道の駅、高速道路SA・PA※2に配置) 関係団体(富山県婦人会)へ配布※3
	一般市民	(広く一般の人々)	Webアンケート※4
事業者	製造業等	(富山商工会議所、富山市北商工会)	会報等による配布・郵送回収 (約6,700社)※5
	運送業	(富山県トラック協会、新潟県トラック協会、石川県トラック協会)	

### ②ヒアリング調査

項目	調査対象	
関係団体 (計26団体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事業者【1団体】</li> <li>○消防機関【1団体】</li> <li>○事業者【12団体】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○警察機関【1団体】</li> <li>○地方自治体【2団体】</li> <li>○教育機関【9団体】</li> </ul>

## ■アンケート配布範囲



- ※1：世帯数：住民基本台帳（H31.3末）
- ※2：道の駅：カモンパーク新湊、万葉の里高岡、メルヘンおやべ、越後市振の関の計4箇所  
高速道路SA・PA：不動寺PA上り下り、小矢部川SA上り下り、呉羽PA上り下り、有磯海SA上り下り、城端SAの計9箇所
- ※3：富山県婦人会ほか15団体（700部）
- ※4：事務所ホームページに設置、県市町村のホームページにリンクバナーを掲載
- ※5：富山商工会議所の会員数約3,400社、富山市北商工会の会員数約1,300社、富山県トラック協会の正会員数約600社、新潟県トラック協会の正会員数約830社、石川県トラック協会の正会員数約640社

## 2-2. 意見聴取の内容

### ■意見聴取の内容

〔地域住民用〕 〔事業者等用〕 共通

**問1 国道8号(対象区間)の道路利用について**  
該当する主なものを1つ選んで、番号に○を付けてください。  
「その他」を選択された方は( )内に具体的な内容をお書きください。

A.利用頻度	1.週に5回以上 3.週に1~2回 5.年に数回	2.週に3~4回 4.月に1~2回 6.利用したことがない(問2へ)
B.利用目的	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買物 4.仕事(営業) 5.仕事(運送・運搬) 6.仕事(送迎) 7.仕事(旅客) 8.観光・レジャー 9.その他(括弧内にご記入ください)	

**問2 政策目標の中で、特に重視すべき項目**  
政策目標の中で、特に重視すべきと思われる項目を最大2つまで選んでいただき、番号の欄に○をつけてください。

- ① 交通の円滑化
- ② 交通安全の確保
- ③ 地域産業の活性化
- ④ 快適・安心な暮らしづくり
- ⑤ 災害に強い道路の確保

**問3 配慮すべき点の中で、特に重視すべき項目**  
配慮すべき点の中で、特に重視すべきと思われる項目を最大2つまで選んでいただき、番号の欄に○をつけてください。

- ① 環境等への影響
- ② 生活環境への影響
- ③ 工事の影響
- ④ 建設費
- ⑤ その他(上記以外で重視すべき項目)

**問4 その他**  
対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。



- ①ホームページ : 富山河川国道事務所、富山県、富山市ほかのホームページにバナーを掲載した。
- ②広報誌 : 富山商工会議所、富山県トラック協会の会報に広報記事を掲載した。
- ③新聞広告 : 県内新聞販売の主要3紙(北日本新聞、読売新聞、富山新聞)に広告を掲載した。
- ④ポスター・チラシ : 富山河川国道事務所、富山県、富山市ほか県内の行政機関、道の駅及び高速道路SA・PAにおいてチラシを配置し、ポスターを掲示した。
- ⑤リーフレット : 行政機関、道の駅及び高速道路SA・PAにおいてリーフレットを配置した。

## ①ホームページ

◆富山河川国道事務所・富山県・富山市ほかにバナー等を掲載



広報ページへ移動



## ②広報誌

(商工とやま：富山商工会議所会報誌)

商工とやま  
The Toyama Chamber of Commerce & Industry



A screenshot of an advertisement for 'Shocho to yama' magazine. The ad features a table with details about the magazine, including its price (840 yen) and subscription information. A red box highlights a QR code and a URL for more information.

紙名	発行頻度	発行日
富山県 情報誌	毎月	毎月1日
富山商工 情報誌	毎月	毎月1日
富山県 情報誌	毎月	毎月1日
富山商工 情報誌	毎月	毎月1日
富山県 情報誌	毎月	毎月1日
富山商工 情報誌	毎月	毎月1日

## ③新聞広告

(北日本新聞)

A screenshot of a newspaper advertisement for the survey. The ad is titled 'アンケートにご協力ください!' (Please cooperate with the survey!) and includes a QR code and a URL for more information. The ad is dated December 27, 2019.

## ④ポスター・チラシ

## ⑤リーフレット

(富山市役所)



「アンケートページはこちら」  
http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/common/old/gaikan/  
お問い合わせ先  
富山河川国道事務所調査第二課  
076-443-4717

国土交通省富山河川国道事務所では、日本海側の大動脈である一般国道8号の富山市中島から本郷までの約7kmの区間について、今後の道路整備計画の検討にあたり、アンケート調査を実施しています。ぜひご協力をお願いいたします。

みなさんの声に  
アンケートに関するアンケート

## 2-4. 意見聴取の実施状況

- アンケート調査は、3,321部の回答票を得た。
- ヒアリング調査は、計26団体に実施した。

### ■ アンケート調査による意見聴取

調査対象		調査方法	配布回収数		
			配布数	回収数	回収率
地域住民	沿線住民	郵送配布・郵送回収	1,800部	1,016部	30.7%
	周辺住民	留置アンケート	2,250部		
	一般市民	Webアンケート	949人※	508人	
事業者	製造業等	会報等による配布・郵送回収	6,770部	1,797部	
	運送業				
合計			—	3,321部	

※専用ページの閲覧人数

### ■ ヒアリング調査による意見聴取

調査対象		実施状況
関係団体	交通事業者	1団体
	消防機関	1団体
	事業者	12団体
	警察機関	1団体
	地方自治体	2団体
	教育機関	9団体
	計	26団体

### 【参考】日常交通の実態調査におけるサンプル数の設定

日常交通の実態調査におけるサンプル数の設定は、標本調査の設定式(以下の公式)を用いて検討されていることが多い。評価対象区間を利用する交通(50,160台/日(H27):母集団)に対して必要とされるサンプル数は約400である。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

$\alpha$  : 母集団特性値の推定を誤る確率 (通常 5%がよく用いられる)

$K(\alpha)$  : 正規分布の性質から与えられる値 ( $\alpha = 5\%$  のとき、 $K(\alpha) = 1.96$ )

$\varepsilon$  : 許容できるサンプリングの誤差

$P$  : 母比率 (一般的には、事前に想定できないことから、最も必要サンプル数が多くなる「0.5」を用いることが多い。)

$N$  : 母集団の大きさ

$n$  : 必要とされるサンプル数

出典: 都市・地域総合交通戦略及び特定の交通課題に対応した  
都市交通計画検討のための実態調査・分析の手引き(P60)

- 沿線住民のアンケート配布は市報へ同梱したが、他の広告等と混ざること注目度が低下したものと想定し、各家庭へ直接郵送配布することに変更した。
- 富山県内の女性団体は、1団体から県下の全団体(16団体)に拡大した。
- 一方、富山商工会議所の会員には、金融業等の直接的な関係性の低い業種も含まれるため、対象の業種を製造業や運輸業等に絞り込み、配布対象を厳選した。

## ■アンケート調査による意見聴取

調査対象		調査方法		配布数		回収数		
		第1回 意見聴取	第2回 意見聴取	第1回 意見聴取	第2回 意見聴取	第1回 意見聴取	第2回 意見聴取	
地域住民	沿線住民		市報による配布・郵送回収	郵送配布※・郵送回収	1,800	1,800	459	1,016
	周辺住民		留置アンケート・郵送回収	留置アンケート・郵送回収	1,550	1,550		
	一般市民	女性団体		直接配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	100	700	
				Webアンケート	Webアンケート	—	—	335
事業者	製造業等	富山商工会議所	会報等による配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	5,520	3,380	256	1,797
		富山市北商工会	直接配布・郵送回収	直接配布・郵送回収	1,330	1,330		
	運送業	富山県トラック協会	会報等による配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	585	590		
		石川県トラック協会	会報等による配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	630	640		
		新潟県トラック協会	会報等による配布・郵送回収	会報等による配布・郵送回収	830	830		
		合計			12,345	10,820	1,050	3,321
		回収率					8.5%	30.7%

※ 町丁目・字単位の全戸へ配達可能な「配達地域指定郵便物」のサービスを活用した。

- 富山県内の女性団体(16団体)へ調査協力(計700部)を依頼した。
- 回収結果の女性比率は約10%向上した。

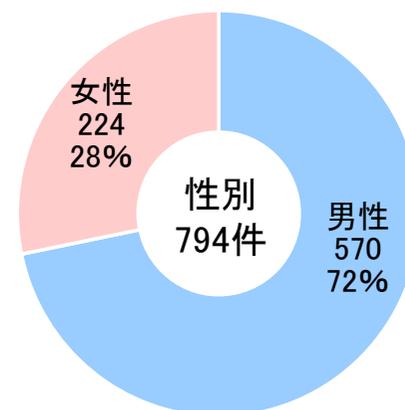
## ■調査協力を依頼した女性団体一覧

	団体名	会員数
1	富山県婦人会	6,040
2	JA富山県 女性組織協議会	6,571
3	(公財) 富山県母子募婦福祉連合会	1,163
4	富山県漁業協同組合女性部連合会	262
5	富山県更生保護女性連盟	4,100
6	富山友の会	132
7	富山県商工会女性部連合会	1,281
8	(公社) 富山県看護協会	8,101
9	富山県保育士会	3,449
10	(一社) 富山県助産師会	120
11	富山県商工会議所女性会連合会	500
12	富山県生活学校連絡協議会	234
13	富山県地域活性化グループ協議会	127
14	連合富山女性委員会	20,000
15	富山県女性スポーツの会	2,000
16	新日本婦人の会富山県本部	750

平成30年6月1日現在

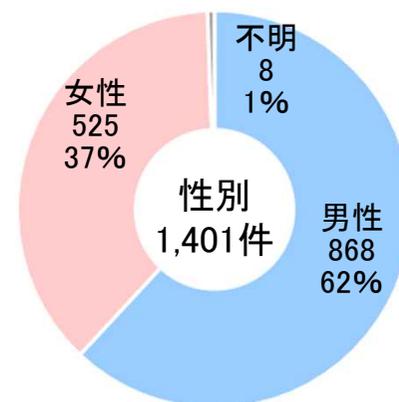
## ■アンケート回収結果における男女構成比の変化

### ◆第1回意見聴取結果



女性比率  
10%向上

### ◆第2回意見聴取結果

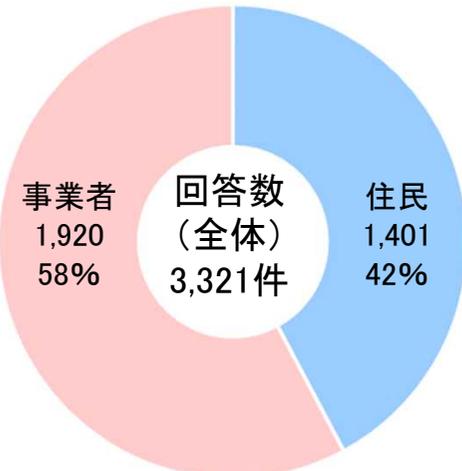


## (1) アンケート調査

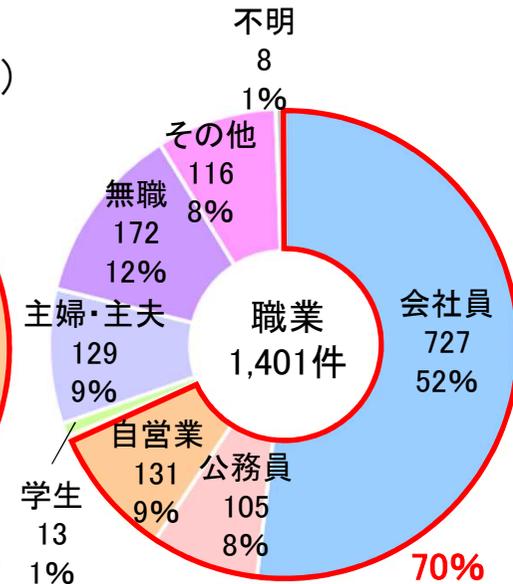
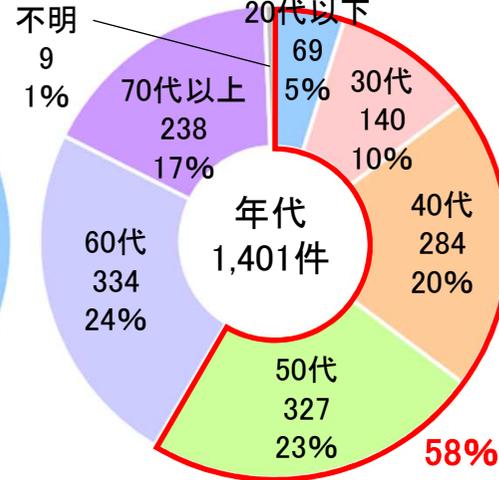
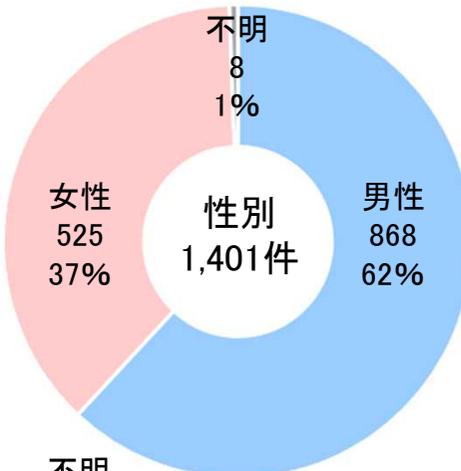
### 1) 回答者の属性

- 回答者の性別は男性が約6割、年代は50代以下が約6割、職業は会社員・公務員・自営業で約7割を占める。
- 回答者のうち、富山市内在住の方々からの回答が約8割を占める。
- 事業者アンケートの業種は、建設・製造業が約3割と最も多く、次いで運輸業、卸売・小売業が約2割を占める。

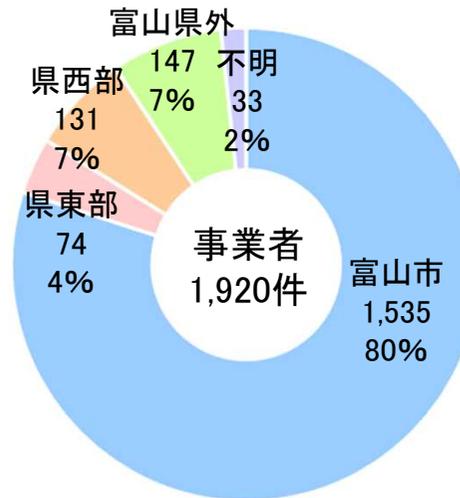
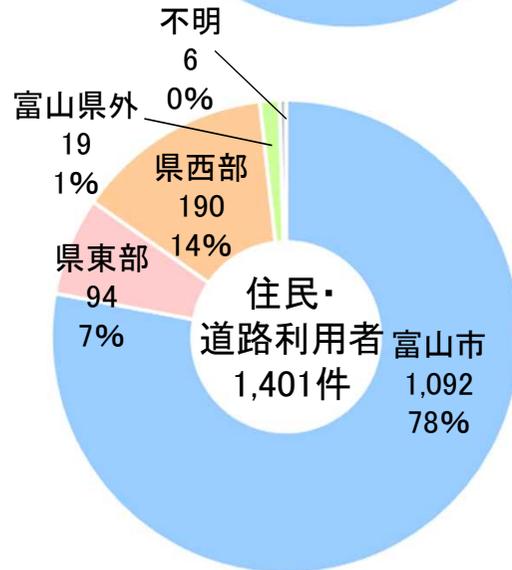
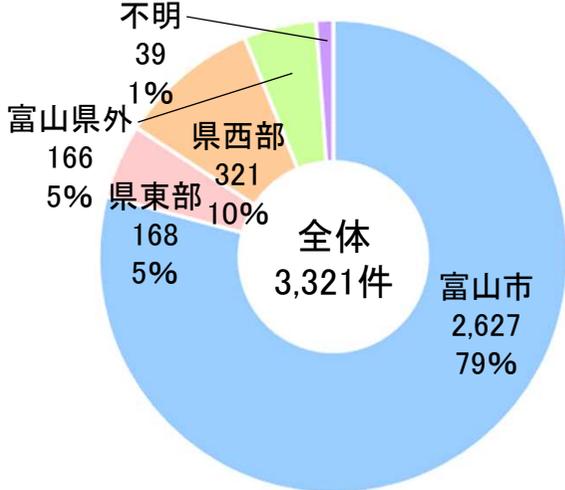
■ アンケートの回収状況



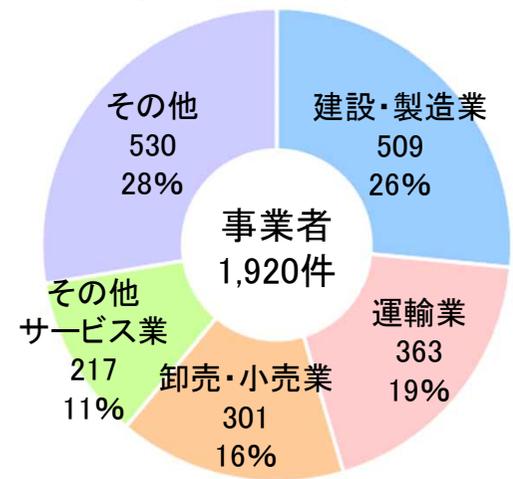
■ 住民・道路利用者の個人属性(性別、年齢、職業)



■ 回答者の住所

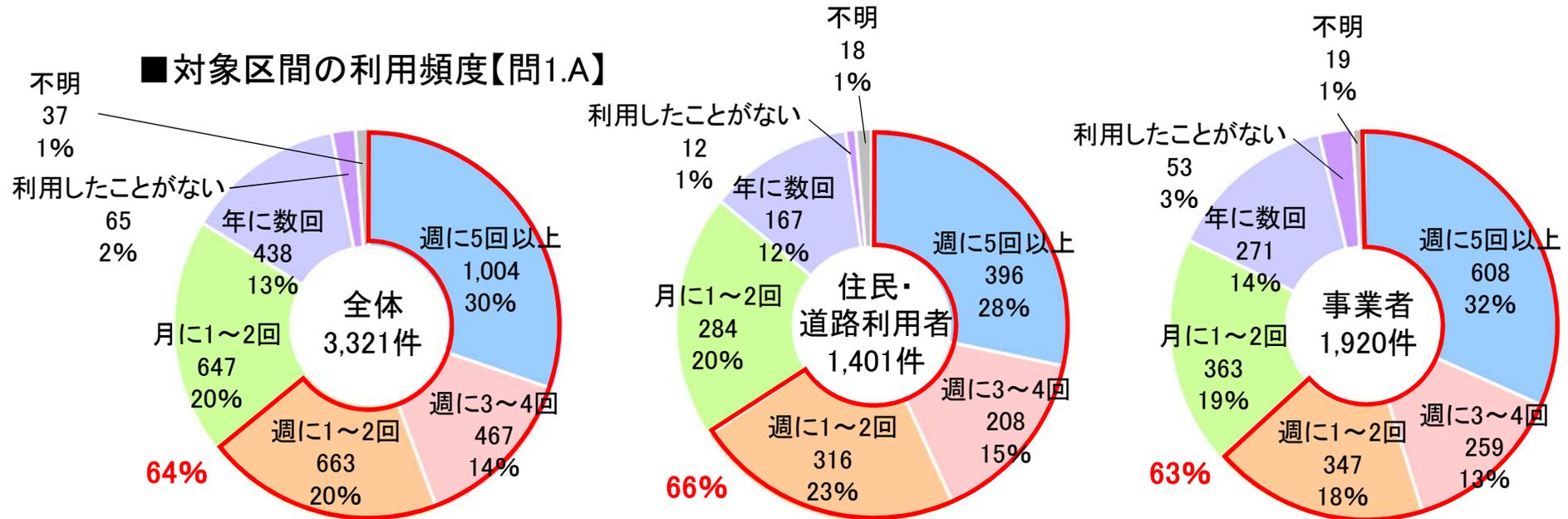


■ 事業者の業種

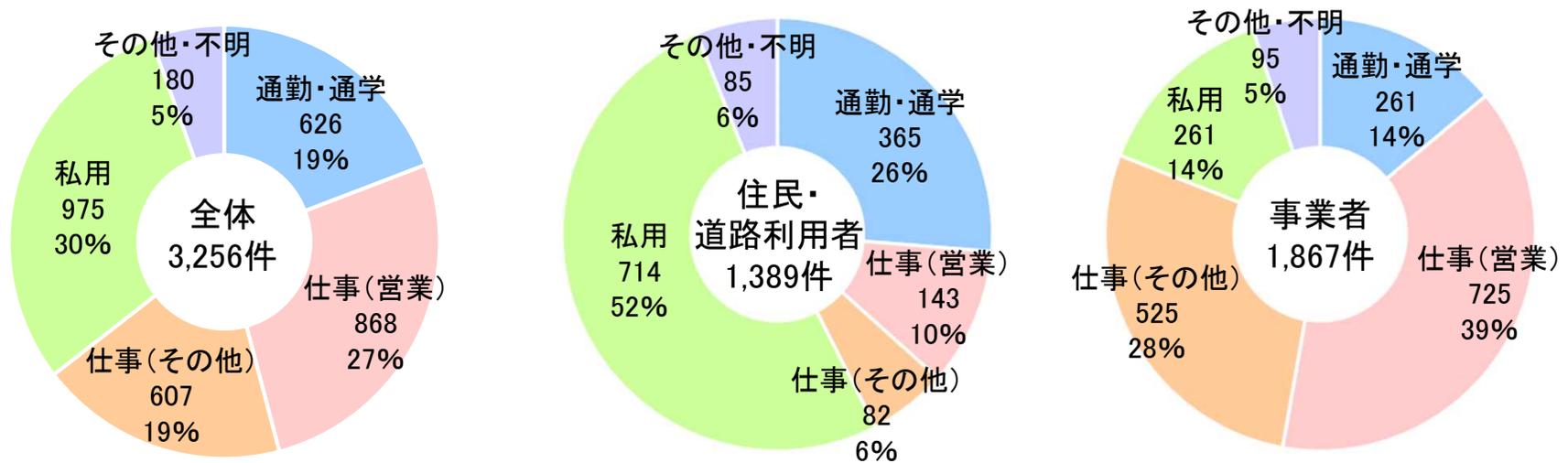


## 2) 国道8号(対象区間)の道路利用【問1】

- 回答者のうち、対象区間(中島～本郷)の利用頻度は週1～2回以上が約6割を占める。
- 住民・道路利用者の利用目的は、「私用」が約5割と最も多く、次いで「通勤・通学」が約3割と多い。
- 事業者の利用目的は、「仕事(営業)」が約4割と最も多く、次いで「仕事(運送・運搬)」が約3割と多い。



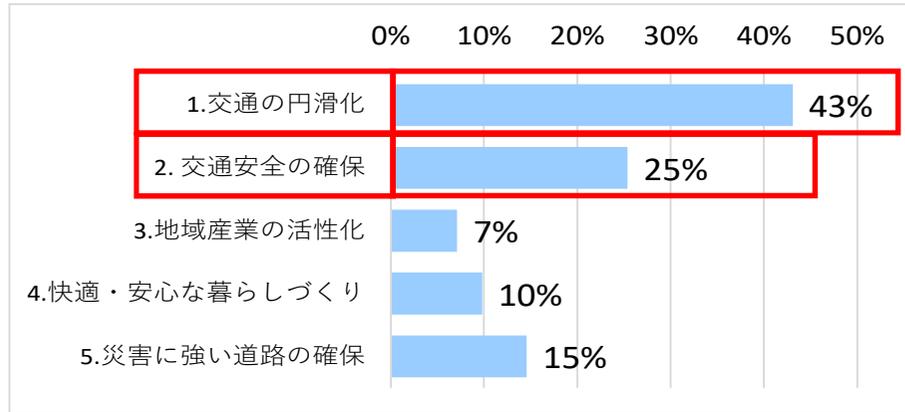
### ■ 対象区間の利用目的【問1.B】



## 3) 地域の課題(案)の評価等【問2~4】

- 政策目標の中で、特に重視すべき項目は「1.交通の円滑化」「2.交通安全の確保」が突出して多い。
- 配慮すべき点の中で、特に重視すべき項目は「1.環境等への影響」「2.生活への影響」が多い。
- 対象区間に対する主な意見として、「交通の円滑化」「早期整備」に関する意見が多く寄せられた。

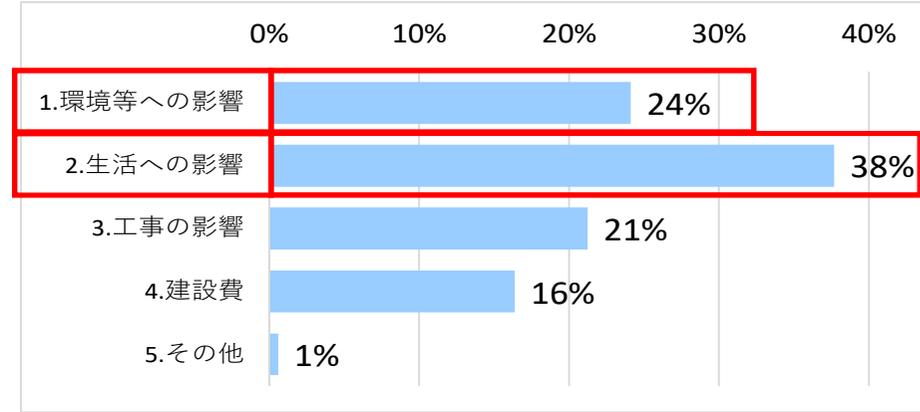
### ■政策目標の中で、特に重視すべき項目



※最大2つまで回答可

N=6, 202

### ■配慮すべき点の中で、特に重視すべき項目



※最大2つまで回答可

N=5, 835

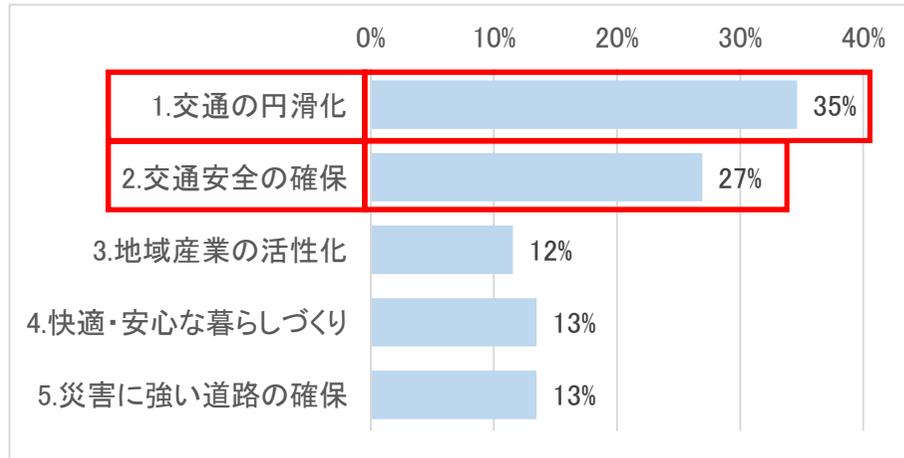
### ■対象区間に対する自由意見 (N=1,152)

区分	項目	件数	政策目標及び配慮すべき点等に関する主な意見
政策目標	交通の円滑化	255	・特に <b>朝夕の渋滞がなくなるよう早期の整備実施</b> をお願いします。
	交通安全の確保	58	・交通量の多い区間のため、 <b>交差点の右折車は矢印信号が赤に変わっても強引に右折する車が多く危険</b> 。
	地域産業の活性化	13	・国道8号は全国的な幹線道路であり、早急な道路整備は、 <b>富山県内の産業・経済の発展等において緊急の課題</b> である。
	快適・安心な暮らしづくり	12	・朝のラッシュはすさまじく、中島大橋が常時3車線になります。 <b>救急車の通行も困難であり、早い解消を希望</b> します。
	災害に強い道路の確保	22	・近年の災害の多発化・激甚化を踏まえ、 <b>災害に強く、安全・安心な道路を期待</b> する。
配慮すべき点	環境等への影響	1	・国道たるもの、 <b>環境や経済効果などの政策を重視</b> して欲しい。
	生活への影響	32	・渋滞時の騒音、夜間に爆音で走行していく <b>車やトラックの騒音で困っています</b> 。
	工事の影響	38	・ <b>工事中も渋滞しないよう</b> にお願いしたい。
	建設費	16	・ <b>工事費が大きくならないように!</b>
その他	早期整備	309	・予算等の問題もありませんが <b>早期の実現を希望</b> します。
	維持管理	36	・歩道の <b>除草対策</b> をお願いします。
	反対意見	47	・人口が減少する中、 <b>時間とお金をかけて整備する必要はない</b> 。
	対応方針	237	・6車線は車線移動が難しく、バイパスは高い建設費用・開通まで長期間を要することから、 <b>交差点立体化が望ましい</b> 。 (参考：交差点立体化が望ましいとする意見約8割、6車線化約1割、バイパス約1割 ※複数回答あり)
	その他	76	・ <b>県の東西をつなぐ大切な道</b> 。

## (2)ヒアリング調査

- 政策目標の中で、特に重視すべき項目は「1.交通の円滑化」「2.交通安全の確保」が突出して多い。
- 配慮すべき点の中で、特に重視すべき項目は「2.生活への影響」「3.工事への影響」が突出して多い。
- 対象区間に対する主な意見として、「交通の円滑化」「交通安全の確保」に関する意見が多く寄せられた。

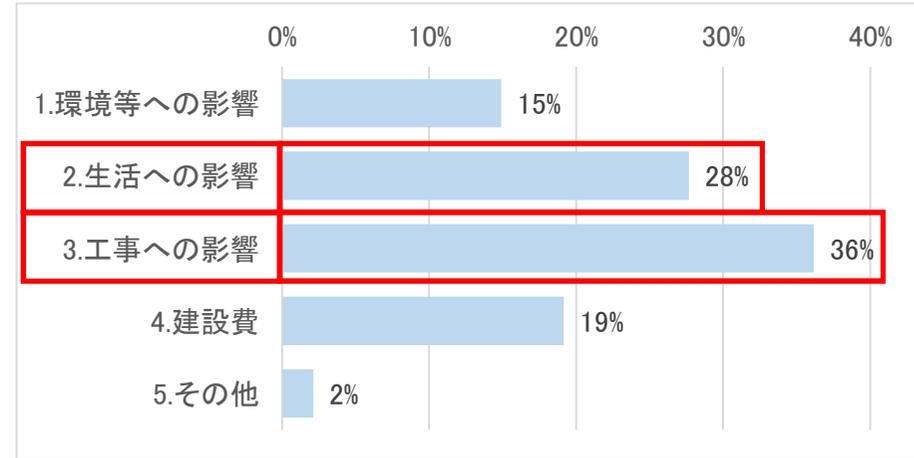
### ■政策目標の中で、特に重視すべき項目



※最大2つまで回答可

N=52

### ■配慮すべき点の中で、特に重視すべき項目



※最大2つまで回答可

N=47

### ■対象区間に対する自由意見 (N=56)

区分	項目	件数	政策目標及び配慮すべき点等に関する主な意見
政策目標	交通の円滑化	20	・国道8号に交差する道路が利用しやすくなるようにしてもらいたい。
	交通安全の確保	10	・車線数を増やすと、交通事故が増えると思われる。
	地域産業の活性化	4	・大型車の走行は道幅の広い国道8号を優先するため、混雑にもつながっているものと想定される。
	快適・安心な暮らしづくり	2	・緊急時を想定した道路構造としてもらいたい。
	災害に強い道路の確保	4	・災害発生時および緊急時の輸送ルートを確保することは重要だと思われる。
配慮すべき点	生活への影響	1	・立体化は、沿道の日照を妨げたり、景観を損ねるのではないかと。
	工事の影響	3	・坂東立体のときは、工事中においても大きな影響はなかったと思われる。
その他	早期整備	2	・当該区間の整備には、豊田新屋立体のように長期間を要するものと想定されるが、早期整備が望まれる。
	その他	10	・冬期間の除雪対策をぜひともお願いしたい。

### **3. 対応方針(原案)の検討**

# 3-1. ルート帯案

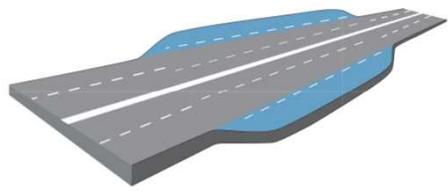
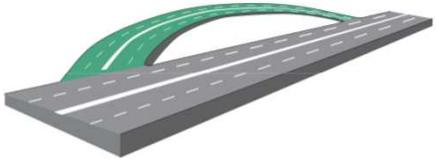
●以下の比較3ルートを検討。

## ■ルート帯案(比較3ルート)



比較案	案① 6車線化	案② 交差点立体化	案③ バイパス
概要	現道(4車線)を6車線に拡幅し、交通容量を拡大する案	立体化により交通課題(渋滞、事故)の集中する交差点を回避する案	交通課題(渋滞、事故)の集中する箇所を回避する全線バイパス案
整備イメージ			

# 3-2. ルート帯案の比較評価

対 応 方 針 案		【案①】6車線化	【案②】交差点立体化	【案③】バイパス	
					
概 要		現在の道路(以下、現道)を4車線から6車線に拡幅	交通課題が顕在する交差点を立体化	現在の道路(以下、現道)とは別のバイパスを整備	
政策目標	①交通の円滑化	交通混雑を緩和 ・走行車線が増えるが、信号交差点は残るため、渋滞緩和の効果は小さい(混雑時の所要時間が約1分短縮※)	△	○	◎
	②交通安全の確保	交通事故の減少 ・信号交差点が残るため、交通事故減少の効果はない※	△	◎	○
	③地域産業の活性化	企業活動(輸送時間の短縮、定時性の確保)を支援 ・信号交差点が残るため、輸送時間を短縮できず、移動に必要な時間を想定できない	△	○	○
	④快適・安心な暮らしづくり	公共交通の定時性向上 ・信号交差点が残るため、交通転換によるバス路線の混雑緩和は期待できない	△	○	○
		救急車の搬送時間短縮 ・信号交差点が残るため、搬送時間を短縮できない	△	○	△
⑤災害に強い道路の確保	河川氾濫時の緊急通行確保路線の確保 ・平面構造のため、河川氾濫時において緊急通行確保路線を確保できない	△	○	○	
配慮すべき点	①環境等への影響	自然環境への影響 ・現道を拡幅するため、影響は小さい	○	○	△
		移転等が必要な家屋数 ・少ない	○	○	△
	②生活への影響	生活環境(大気・騒音等)への影響 ・信号交差点が残るため、現道沿線の生活環境(大気騒音等)の改善は期待できない	△	○	△
		③工事の影響	工事中の交通規制 ・現道を工事するため、交通規制が最も多い	△	△
④建設費	建設費用 ・約200~250億円	◎	○	△	

※R12将来交通量推計より算出

意見聴取で重視されている上位の項目

## 1. 道路整備の必要性

【理由】	【地域の意見聴取等の結果】	
<p>政策目標を実現できる道路整備を検討</p> <p>【政策目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通の円滑化</li> <li>○交通安全の確保</li> <li>○地域産業の活性化</li> <li>○快適・安心な暮らしづくり</li> <li>○災害に強い道路の確保</li> </ul>	<p>地域の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現状の課題は、「国道8号の交通渋滞」「多発する交通事故」「円滑な物流への支障」「他道路などへの影響」「救急搬送への障害」「洪水時の救援活動への障害」となっている。</li> </ul>
	<p>ルート検討において重視すべき事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●政策目標において重視すべき項目としては、「交通の円滑化」「交通安全の確保」に関する内容が多い。</li> <li>●その他配慮すべき項目としては、「環境等への影響」「生活への影響」「工事の影響」に関する内容が多い。</li> </ul>

## 2. 対応方針(原案)

1. 対応方針(原案)は、交通課題(渋滞、事故)の集中する交差点を回避する「交差点立体化」とする。

### 【理由】

- 地域の意見聴取結果において、政策目標に関しては「交通の円滑化」「交通安全の確保」について重視すべきとする意見が多く、「交差点立体化」及び「バイパス」が適している。
- 配慮すべき点では、「環境等への影響」「生活への影響」「工事の影響」の意見が多く、他案に比べて、「交差点立体化」は複数の影響に配慮することが可能である。
- 以上、総合的に判断して「交差点立体化」が適していると考える。

2. 具体の道路構造等の検討にあたっては、コスト縮減や工事中の影響に留意するとともに、既存の道路状況や沿道状況を踏まえながら新たに整備される道路と既存の道路の接続方法等に十分に配慮した設計・施工とし、各関係自治体と調整を行う。

## ◇ルート帯案

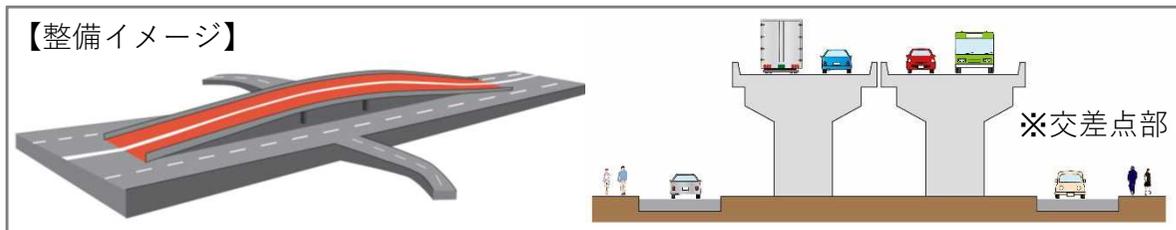
【案】交差点立体化・・・立体化により交通課題(渋滞、事故)の集中する交差点を回避する案



### ■整備概要

延長	約7.5km	コスト	約400～450億円
----	--------	-----	------------

### 【整備イメージ】



凡 例			
<span style="border-bottom: 2px solid orange; width: 20px; display: inline-block;"></span>	一般国道		鉄道施設
<span style="border-bottom: 2px solid pink; width: 20px; display: inline-block;"></span>	補助国道	<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: pink;"></span>	集落(住宅団地)
<span style="border-bottom: 2px solid green; width: 20px; display: inline-block;"></span>	主要地方道	<span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: blue;"></span>	河川氾濫浸水域
<span style="border-bottom: 2px solid yellow; width: 20px; display: inline-block;"></span>	一般県道		
<span style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; display: inline-block;"></span>	高架区間		

## 4. 自治体への意見照会

## ■自治体意見照会の回答(要旨)

自治体	意見
富山県	<p>富山外郭環状道路 一般国道8号 中島～本郷の計画段階評価における対応方針(原案)に同意します。</p> <p>一般国道8号の当該区間は、地域高規格道路 富山外郭環状道路の一部を構成し、本県の産業、経済、社会活動を支える大動脈として極めて重要な基幹道路です。</p> <p>富山県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、富山市と連携し事業が円滑に進むよう努めてまいります。</p> <p>つきましては、当該道路の早期事業化について、格別のご配慮をお願いします。</p>
富山市	<p>富山外郭環状道路 一般国道8号中島～本郷における対応方針(原案)について 同意します。</p> <p>地域高規格道路富山外郭環状道路の一部を構成する当該区間は、北陸地方における大動脈であり、本市の社会経済活動や地域の活性化を図るために必要不可欠な広域幹線道路であります。</p> <p>また、当該区間では、県内最大の交通量があり、慢性的な渋滞を引き起こしているばかりでなく、それに伴う交通事故も多発している状況にあります。</p> <p>つきましては、当該区間の早期事業化について格別のご配慮をお願いします。</p> <p>本市といたしましても、引き続き、円滑に事業が推進されるよう努めてまいります。</p>

## ■自治体意見照会の回答(富山県知事、富山市長)

道 第 316 号  
令和 2 年 3 月 11 日

国土交通省北陸地方整備局  
局長 吉岡 幹夫 殿

富山県知事 石井 隆



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和 2 年 3 月 9 日付け国北整道計第 20 号で意見照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

富山外郭環状道路 一般国道 8 号 中島～本郷の計画段階評価における対応方針(原案)に同意します。

一般国道 8 号の当該区間は、地域高規格道路 富山外郭環状道路の一部を構成し、本県の産業、経済、社会活動を支える大動脈として極めて重要な基幹道路です。

富山県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、富山市と連携し事業が円滑に進むよう努めてまいります。

つきましては、当該道路の早期事業化について、格別のご配慮をお願いします。

以上

事務担当：土木部道路課計画係  
TEL 076-444-3319

建 政 第 1 0 3 号  
令和 2 年 3 月 1 0 日

国土交通省北陸地方整備局  
富山河川国道事務所  
事務所長 石井 宏幸 殿

富山市長 森 雅志



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

令和 2 年 3 月 9 日付け国北整富二調第 3 7 号で意見照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

富山外郭環状道路 一般国道 8 号中島～本郷における対応方針(原案)について同意します。

地域高規格道路富山外郭環状道路の一部を構成する当該区間は、北陸地方における大動脈であり、本市の社会経済活動や地域の活性化を図るために必要不可欠な広域幹線道路であります。

また、当該区間では、県内最大の交通量があり、慢性的な渋滞を引き起こしているばかりでなく、それに伴う交通事故も多発している状況にあります。

つきましては、当該区間の早期事業化について格別のご配慮をお願いします。

本市といたしましては、引き続き、円滑に事業が推進されるよう努めてまいります。

(担当) 建設部 建設政策課  
TEL 076-443-2091 (直通)

## 5. 対応方針(案) まとめ

# 5-1. 対応方針(案)まとめ

## ◇対応方針(原案)

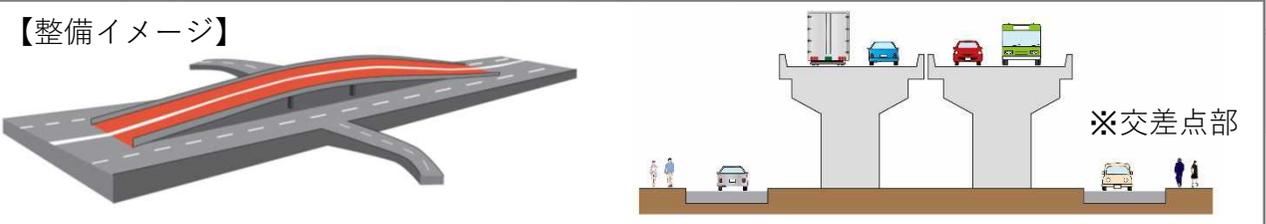
一般国道8号(中島～本郷)の渋滞等の解決策は、交差点立体化とする。

## ◇計画・ルートの考え方

- 一般国道8号の富山市中島から本郷間を結ぶルート。
- 主要渋滞箇所や事故危険箇所、浸水想定区域を立体化により回避し、自然環境や生活環境への影響も小さく、港湾や高速道路ICへのアクセス性や病院等への速達性の向上を考慮。
- 道路構造は盛土、橋梁が想定される。

## ◇計画諸元

- 【区間】 (起点) 富山県富山市中島 (とやま なかじま)  
(終点) 富山県富山市本郷 (ほんごう)
- 【延長】 約7km
- 【構造規格】 第3種第1級、4車線、設計速度80km/h



凡 例			
<span style="color: orange;">—</span>	一般国道		鉄道施設
<span style="color: pink;">—</span>	補助国道		集落(住宅団地)
<span style="color: green;">—</span>	主要地方道		河川氾濫浸水域
<span style="color: yellow;">—</span>	一般県道		
<span style="color: red;">—</span>	高架区間		

## 6. 今後の流れ(案)

- 対応方針〔概略ルート、構造等〕(案)の決定を踏まえ、新規事業化に向けて各種検討・手続きを実施する。

【令和2年3月】

